

各 位

静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻

学生募集要項（2026年度一般入試・自己推薦型入試等）の
公開と請求方法について

本専攻の学生募集要項について、次ページ以降に掲載されていますのでご確認ください。なお、実際の出願にあたっては下記の請求方法により紙媒体の学生募集要項を入手し、要項に綴じ込まれた各種用紙に記入したものを、必要な証明書類等とあわせてご提出願います。

記

＊ ＊ 学生募集要項の請求方法について ＊ ＊

（１）窓口で請求する場合

学生募集要項は理学部学務係で配付します。

- ・配布時間：８時３０分～１２時３０分、及び１３時３０分～１７時００分（土日祝日を除く）

（２）郵送で請求する場合

定型封筒（長形又は角形）の表の左下に、「理学専攻（修士課程）学生募集要項請求」と朱書きし、裏面に請求者の郵便番号、住所、氏名を記入の上、次の「返信用封筒」を同封して理学部学務係宛に送付してください。

募集要項は無料ですが、郵送料についてはご負担をお願いします。

「返信用封筒」（本学からの募集要項を送るための封筒）

- ・規格：角形２号封筒（33cm×23.5cm）
- ・請求者の郵便番号、住所、氏名を明記
- ・320円分の切手を貼り、折りたたんで大学に送付する封筒に入れてください。

（３）被災者への特別措置

大規模災害で被災された入学志願者の方については、以下のURLのとおり特別措置を講じます。詳細については「（４）担当窓口及び請求先」までお問い合わせください。

【特別措置】 <https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi/>

（４）担当窓口及び請求先

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学理学部学務係

〔電話〕 054-238-4861

〔メール〕 ri-gakumu@adb.shizuoka.ac.jp

静岡大学大学院総合科学技術研究科
理学専攻（修士課程）

学 生 募 集 要 項

2026年度

一 般 入 試
自己推薦型入試
外国人留学生入試

2025年度

<2025年10月期入学>
一 般 入 試
自己推薦型入試



静 岡 大 学

目 次

◎静岡大学の理念と目標	1
◎総合科学技術研究科のアドミッション・ポリシー	1
◎理学専攻のアドミッション・ポリシー	1
◎コース別募集人員	5
■一般入試	6
■自己推薦型入試	13
■外国人留学生入試	17
■一般入試（2025年10月期入学）	24
■自己推薦型入試（2025年10月期入学）	26
□入学試験情報の提供	27
□個人情報の取り扱い	27
□長期履修学生制度について	27
□障害等のある入学志願者への受験上の配慮について	28
□安全保障輸出管理について	28
□理学専攻コース概要（教育研究項目）	29
□理学専攻コース紹介（主要研究内容）	31
□放射科学教育プログラムについて	36
□静岡キャンパス案内図・建物配置図	37
□入学願書等出願書類	

静岡大学の理念と目標

理念「自由啓発・未来創成」

この理念は、教育だけでなく、なにごとにもとらわれない自由な発想に基づく独創的な研究、相互啓発的な社会との協働に不可欠であり、時代を越えて受け継がれるべきものです。静岡大学の学生・教職員は、このような認識の下で、教育、研究、社会連携・産学連携、国際連携の柱として、「自由啓発」の理念を引き続き高く掲げ、共に手を携えて地域の課題、さらには地球規模の諸問題に果敢にチャレンジするとともに、人類の平和と幸福を絶えず追求し、希望に満ちた未来を創り出す「未来創成」に全力を尽くします。

静岡大学は、以上のような意味での「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献していきます。

詳しくは <https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals/> を参照ください。

総合科学技術研究科のアドミッション・ポリシー

【育てる人間像】

進展するグローバル化社会のなかで、社会的ニーズや科学技術の課題の解決のために、個別の専門分野を越えて柔軟に対応することができ、研究・開発や企業の海外展開における国際交流に貢献できる理工系人材の育成を目指します。また博士課程でのより高度な研究に取り組むことのできる人材の育成を目指します。

【目指す教育】

個別的な専門的基礎の上に立って、関連する専攻や自らの有する知識の社会的位置づけをも含めた、より広い融合的な学際分野について俯瞰する能力、外国語で自らの専門分野及び関連する諸分野について理解し、発表し、議論することのできる国際的な対応能力、および博士課程でのより高度な自立的研究の基礎となる能力を修得させます。

【求める学生像】

現在の様々な社会的・科学技術的な諸問題に対して強い関心があり、研究や科学技術の発展を通じて社会に貢献する強い意欲を持っている学生を求めます。さらに国際的な感覚を有し、海外の学生や研究者と協働して学習および研究や開発を遂行できる学生を求めます。

【入学に必要とされる資質・能力】

学士課程の個別的な専門分野で形成されるべき基礎的な知識と能力が必要です。またこれらの知識と能力を応用できる思考力、判断力および表現力が必要です。さらに国際的なコミュニケーション能力と共に、多様な人々と協働して学ぶことのできる意欲が必要です。

理学専攻のアドミッション・ポリシー

【育てる人間像】

本専攻は、高度な科学技術社会の中で、基礎科学に基づき、さまざまな基礎ならびに応用分野における問題解決能力を有する人材の育成を目指します。人類のより豊かな繁栄のために、真理を探究する理学の精神が求められています。その実現に向けて、幅広い視野を涵養するとともに、それぞれの専門分野で高度な教育研究を行います。理学の教育と研究は、グローバル化をふくめ社会の多様なニーズに応えるための洞察力、適応力、行動力を養うことを目的とし

て、物事の本質的な理解と独創力に支えられた教育研究を主眼としています。これらによって、国際的に活躍できる高度な技術職や研究職等に必要な深い学識を身につけた人材の育成を目指します。

【目指す教育】

- 1 幅広い視野とともに、高度な専門知識と独創的な研究能力を持つ人材の育成を目指します。
- 2 特論、演習、特別研究の有機的な関連を重視し、複数の指導教員によるきめ細かい教育・研究の指導を行います。
- 3 基本原理を重視した教育及び全専攻にわたる共通科目と英語科目等によって、学際的分野について俯瞰する能力ならびに国際的な対応能力を養い、個々の専門的問題の解決能力を高める教育を行います。

【求める学生像】

グローバル化をふくめ多様化する現代社会の持つ諸問題に対して強い関心を抱き、専門に偏らない幅広い視野で物事を考えることのできる意欲ある学生を求めています。特に理学的な現象に対し、それらの基本原理に根ざした深い探究心を持つ学生を求めています。

【入学に必要とされる資質・能力】

本専攻が行う入学者選抜試験は、受験者が理学に関する基礎知識と論理的思考力に加え、理学的な現象に対し、それらの基本原理に根ざした深い探究心を有しているかを判断するために行われます。一般入試および外国人留学生入試では、各専門分野に関する基礎知識と論理的思考力および英文の読解力と英語による表現力を判断する筆記試験等に加え、学問・研究に対する態度を判断する口述試験を課しています。また自己推薦型入試では、出願書類の審査による基本的資質・能力の判定に加え、各専門分野に関する深い関心と熱意など学問・研究に対する積極的な態度を面接試験により評価します。

【入学者選抜の基本方針】

《一般入試・外国人留学生入試・学部3年次学生を対象とする入試》

[数学コース]

解析学、代数学、幾何学、数理論理学などの数学の基礎知識を活かして、さらに高度な数学的素養を身につけ、数学の研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を育成します。そのための能力・学力・適性などを次の試験で総合的に判断します。

(1) 筆記試験

専 門： 数学に関する基礎学力、論理的思考力および表現力を判断します。また、一部の問題は英語で出題され、英語を理解し英語で解答が記述できる能力を評価します。

(2) 口述試験

筆記試験では判断できない数学の基礎学力、論理的思考力、表現力などを判断します。この他、志望動機、将来の目標、意欲・熱意など学習・研究に対する態度も評価します。

[物理学コース]

力学、電磁気学、量子力学、統計力学などの物理学の基礎知識を活かして、さらに高度な物理的素養を身につけると同時に、具体的な物理的課題に取り組み解決していく能力を養うことにより、物理的研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を養成します。そのための能力・学力・適性などを、次の試験において判断します。

(1) 筆記試験

専 門： 本コースにおいて、学習・研究するために必要な基礎学力を判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

筆記試験では判断できない、物理学の理解度や本コースにおける研究に対する適性などを総合的に判断します。

[化学コース]

物理化学、無機化学、有機化学、生物化学、放射化学などの化学の基礎知識を活かして、さらに高度な化学的素養を身につけると同時に、具体的な化学的課題に取り組み解決していく能力を養うことにより、化学的研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を養成します。そのための能力・学力・適性などを、次の試験において判断します。

(1) 筆記試験

専 門：化学に関する基礎学力及び志望する研究分野の専門的学力などを総合的に判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

志望動機や将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎学力、論理的思考力、表現力などを判断します。

[生物科学コース]

生物科学の諸問題に対してマクロな視点でとらえつつ、ミクロな細胞・遺伝子レベルでも専門的に対応できる応用力豊かな人材を育成することを目標とし、修士課程で行う研究を遂行するに足る、興味と動機、基礎学力、研究上の能力などを、次の各試験を通じて総合的に判断します。

(1) 筆記試験

専 門：本コースにおいて、研究を行うための基本となる、専門基礎知識と論理的思考力を判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

受験者が学部等において行ってきた研究内容に関する質疑応答を行い、研究についての基礎知識、理解度、論理的思考能力、表現力、考察力及び討論する力を判断します。この他、将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度もあわせて評価します。

[地球科学コース]

地球科学及び環境科学の諸問題に専門的立場から対応できる人材を育成することを目標とし、修士課程で行う研究を遂行するに足る、興味と動機、基礎学力、研究上の能力などを、次の各試験を通じて総合的に判断します。

(1) 筆記試験

専 門：本コースにおいて、研究を行うための基本となる、専門基礎知識と論理的思考力を判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

受験者が学部等において行ってきた研究内容に関する質疑応答を行い、研究についての基礎知識、理解度、論理的思考能力、表現力、考察力及び討論する力を判断します。この他、将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度もあわせて評価します。

《自己推薦型入試》

入学願書、成績証明書、自己推薦書及び個人面接の結果を総合的に判断し、合格者を決定します。

(一次選抜)

入学願書、成績証明書及び自己推薦書について総合的に判断し、『二次選抜受験有資格者』を決定します。

(二次選抜)

二次選抜受験有資格者に対して、面接試験を行います。

理学専攻修士課程コース別募集人員

コ ー ス	教育研究分野	募集人員
数 学	基礎数理 数理解析	1 1 名
物 理 学	素粒子・宇宙，原子核物理学 基礎物理学 物性物理学	1 4 名
化 学	物理化学 無機化学 有機化学 生物化学 放射化学	1 8 名
生 物 科 学	環境応答学 生体調節学 細胞・発生プログラム学	1 3 名
地 球 科 学	地球ダイナミクス 生物環境科学	1 3 名
合 計		6 9 名

物理学、化学、生物科学及び地球科学の各コースでは、コース横断的に放射科学教育プログラムを展開しています。概要は36頁を参照してください。

一 般 入 試

【2026年4月入学】

1 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本専攻において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本専攻が、個別の入学資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに22歳に達するもの

《注1》 (9)・(10)の資格で出願する場合は、事前審査を行うので「4 事前審査」の内容にしたがって出願してください。

《注2》 以下の(11)～(14)の資格で出願する場合は、2026年1月に試験を行うので、2025年11月頃公表予定の「学部3年次学生を対象とする入試（飛び入学）募集要項」に従って出願してください。なお、(12)に該当し、日本国籍を有しない等の条件を満たした者は、本要項の「外国人留学生入試」に出願することができます。

- (11) 2026年3月までに大学に3年以上在学する見込みの者であって、本専攻において、所定の単位を優秀な成績をもって修得する見込みがあると認めたもの
- (12) 2026年3月までに外国において学校教育における15年の課程を修了見込みの者であって、本専攻において、所定の単位を優秀な成績で修得する見込みがあると認めたもの
- (13) 2026年3月までに外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了見込みの者であって、本専攻において、所定の単位を優秀な成績で修得する見込みがあると認めたもの
- (14) 2026年3月までに我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了見込みの者であって、本専攻において、所定の単位を優秀な成績で修得する見込みがあると認めたもの

2 コース別募集人員及び試験科目

コース	募集人員	教育研究分野	試 験 科 目
数 学	7 名	基礎数理 数理解析	筆記試験 専門（数学） ＊筆記試験（専門）の一部に英語で出題し 英語で解答を求める問題があります。 口述試験（口述試験受験有資格者のみ）
物 理 学	7 名	素粒子・宇宙，原子核物理学 基礎物理学 物性物理学	筆記試験 専門（物理学） 英語 TOEIC テスト等の英語外部試験のスコア による評価を行います。 口述試験（口述試験受験有資格者のみ）
化 学	13 名	物理化学 無機化学 有機化学 生物化学 放射化学	筆記試験 専門（化学） 英語 TOEIC テスト等の英語外部試験のスコア による評価を行います。 口述試験（口述試験受験有資格者のみ）
生物科学	8 名	環境応答学 生体調節学 細胞・発生プログラム学	筆記試験 専門（生物科学） 英語 TOEIC テスト等の英語外部試験のスコア による評価を行います。 口述試験（口述試験受験有資格者のみ）
地球科学	8 名	地球ダイナミクス 生物環境科学	筆記試験 専門（地球科学） 英語 TOEIC テスト等の英語外部試験のスコア による評価を行います。 口述試験（口述試験受験有資格者のみ）

3 研究指導担当教員の選定について

出願に当たっては、『理学専攻コース概要（29、30頁）』及び『理学専攻コース紹介（31～35頁）』を参照し、自分の希望に沿った志望教育研究分野及び志望教育研究項目を決定してください。

なお、出願前に志望する教員に必ず連絡を取り、研究テーマ等について相談すること。

教員の連絡先は、理学部 Web サイト (<https://www.sci.shizuoka.ac.jp/about/staffs222>) で確認してください。連絡先が確認できない場合は、12頁の「問合せ先」に照会してください。

4 事前審査

「1 出願資格」（9）及び（10）の資格で出願を希望する場合は、次の書類を2025年6月20日（金）までに「6 願書提出先」へ提出してください。

事前審査申請書	本専攻所定の用紙に必要事項を記入
推 薦 書	本専攻所定の用紙に出願者が在籍する大学の指導教員を含む複数の教員が所見を記入のうえ、当該学部長が推薦し、厳封したもの。
成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。

返信用封筒	長形 3 号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、110 円切手を貼付したもの。(事前審査結果通知用。海外への送付を希望する場合は郵送料を理学部学務係に確認してください。)
-------	---

※事前審査結果は、2025 年 7 月 4 日（金）までに申請者あてに郵送します。事前審査合格者は、「5 願書受付期間」、「7 出願書類等」により出願手続きを行ってください。

5 願書受付期間

2025 年 7 月 18 日（金）～2025 年 7 月 25 日（金）※土日祝を除く

（窓口受付時間は、9 時から 12 時 30 分及び 13 時 30 分から 16 時の間です。）

郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書（一般入試）在中」と朱書きしてください。なお、郵送の場合は 2025 年 7 月 25 日（金）16 時必着とします。

6 願書提出先

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836

静岡大学理学部学務係 TEL (054) 238-4861

7 出願書類等

入 学 願 書	本専攻所定の用紙に必要事項を記入してください。
入 学 検 定 料 30,000 円	同封の「払込取扱票」により、郵便局の受付窓口で払込んでください。 ※払込後の返還については、「17 注意事項」をお読みください。
振替払込受付証明書 (入学検定料受付証明書)	本専攻所定の用紙に必要事項を記入のうえ証明書を貼付したもの。
成 績 証 明 書	出身大学長又は学部長が作成したもの。
卒業（見込）証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。 本学の理学部を卒業または卒業見込みの者は提出不要です。
受 験 許 可 書	学長又は研究科長が発行したもの。（他の大学院に在学中の者のみ。 ただし、2026 年 3 月修了見込みの者を除く。）
返 信 用 封 筒	本専攻所定の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、110 円切手を貼付したもの。（受験票送付用、海外への送付を希望する場合は郵送料を理学部学務係に確認してください。）
あ て 名 票	本専攻所定の用紙に、郵便番号・住所・氏名を明記してください。（合格通知書・入学手続案内送付用）
英語外部試験の 成績証明書類の写し	数学コース以外に出願する者は、以下の 3 つの英語外部試験のいずれかひとつの成績証明書類を、A4 サイズの用紙にコピーして提出してください。（TOEIC でテスト結果のみが表示された Web 画面を印刷したものは不可） なお、TOEIC L&R については、2022 年 4 月 1 日以降に受験したもの（所属団体・大学の IP テストを含む）を、それ以外の外部試験については 2022 年 8 月 1 日以降に受験したものを有効とします。 ・ TOEIC L&R（IP テストも可） ・ TOEFL iBT ・ IELTS（Academic Module） ※英語外部試験の成績証明書類は、試験実施団体が発行したスコアシートや証明書（Certificate）など、受験者の氏名、日付、得点が記載されたものを指しています。 ※成績証明書類については、口述試験時に原本を確認しますので、受験時に必ず持参してください。（TOEFL iBT の場合は、「Test Taker Score Report：受験者用控えスコアレポート」の郵送版を持参して

	ください。) ※2023年4月以降に TOEIC L&R を受験してデジタル公式認定証の発行を受けた場合は、原本証明用 QR コードが表示された PDF 版スコアシートを印刷して出願時に提出すれば、口述試験時の原本持参は省略できます。
--	---

※ その他、出身大学の指導教員が作成した推薦書を添付しても構いません。

8 選抜方針

《数学コース》

解析学、代数学、幾何学、数理論理学などの数学の基礎知識を活かして、さらに高度な数学的素養を身につけ、数学の研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を育成します。そのための能力・学力・適性などを次の試験で総合的に判断します。

(1) 筆記試験

専 門：数学に関する基礎学力、論理的思考力および表現力を判断します。また、一部の問題は英語で出題され、英語を理解し英語で解答が記述できる能力を評価します。

(2) 口述試験

筆記試験では判断できない数学の基礎学力、論理的思考力、表現力などを判断します。この他、志望動機、将来の目標、意欲・熱意など学習・研究に対する態度も評価します。

《物理学コース》

力学、電磁気学、量子力学、統計力学などの物理学の基礎知識を活かして、さらに高度な物理的素養を身につけると同時に、具体的な物理的課題に取り組み解決していく能力を養うことにより、物理的研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を養成します。そのための能力・学力・適性などを、次の試験において判断します。

(1) 筆記試験

専 門：本コースにおいて、学習・研究するために必要な基礎学力を判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

筆記試験では判断できない、物理学の理解度や本コースにおける研究に対する適性などを総合的に判断します。

《化学コース》

物理化学、無機化学、有機化学、生物化学、放射化学などの化学の基礎知識を活かして、さらに高度な化学的素養を身につけると同時に、具体的な化学的課題に取り組み解決していく能力を養うことにより、化学的研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を養成します。そのための能力・学力・適性などを、次の試験において判断します。

(1) 筆記試験

専 門：化学に関する基礎学力及び志望する研究分野の専門的学力などを総合的に判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

志望動機や将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎学力、論理的思考力、表現力などを判断します。

《生物科学コース》

生物科学の諸問題に対してマクロな視点でとらえつつ、ミクロな細胞・遺伝子レベルでも専門的に対応できる応用力豊かな人材を育成することを目標とし、修士課程で行う研究を遂行するに足る、興味と動機、基礎学力、研究上の能力などを、次の各試験を通じて総合的に判断します。

(1) 筆記試験

専 門：本コースにおいて、研究を行うための基本となる、専門基礎知識と論理的思考力を判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

受験者が学部等において行ってきた研究内容に関する質疑応答を行い、研究についての基礎知識、理解度、論理的思考能力、表現力、考察力及び討論する力を判断します。

この他、将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度もあわせて評価します。

《地球科学コース》

地球科学及び環境科学の諸問題に専門的立場から対応できる人材を育成することを目標とし、修士課程で行う研究を遂行するに足る、興味と動機、基礎学力、研究上の能力などを、次の各試験を通じて総合的に判断します。

(1) 筆記試験

専 門：本コースにおいて、研究を行うための基本となる専門基礎知識と論理的思考力を判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

受験者が学部等において行ってきた研究内容に関する質疑応答を行い、研究についての基礎知識、理解度、論理的思考能力、表現力、考察力及び討論する力を判断します。

この他、将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度もあわせて評価します。

9 選抜方法

(1) 各試験の配点は以下のとおりとします。

コース名	筆記試験	口述試験	英 語
数 学	専門 (100 点)	口述 (200 点)	英語外部試験の結果は、CEFR の定める換算表を参考に 50 点満点の得点に換算して審査します。
物 理 学	専門 (100 点)	口述 (100 点)	
化 学	専門 (100 点)	口述 (100 点)	
生物科学	専門 (100 点)	口述 (100 点)	
地球科学	専門 (100 点)	口述 (100 点)	

(2) 各試験の合計点により順位付けを行い、コースごとに高得点の者から順に合格とします。

10 試験日時及び試験場

《筆記試験》

(1) 試験日時：2025年8月28日(木)

◇ 数学・物理学・生物科学・地球科学コース：9時30分～12時30分

◇ 化学コース：9時30分～11時30分

(2) 試験場：静岡大学理学部（静岡市駿河区大谷836）

※集合時刻及び集合場所等の詳細は、受験票と共に送付される案内文書で通知します。

《口述試験》

(1) 試験日時：2025年8月29日（金）9時00分～

(2) 試験場：静岡大学理学部（静岡市駿河区大谷836）

※集合時刻及び集合場所等の詳細は、『口述試験受験有資格者』の発表とあわせて理学部Webサイトに掲載します。

11 各試験の受験方法

《筆記試験》

(1) 数学コースの筆記試験の問題は、微分積分、線形代数、位相空間等に関する4つの問題からなり、そのうちの1つは、英語を理解し英語で解答する問題です。

(2) 化学コースの筆記試験においては、「有機化学」「無機化学」「物理化学」「生物化学」「放射化学」の5問から、2問を選択して解答してもらいます。

《口述試験》

(1) 数学コース以外の受験者は、口述試験時に英語外部試験の成績証明書類の原本を確認するので、必ず持参してください。（TOEIC L&R のデジタル公式認定証を提出した場合は不要）

(2) 生物科学コースを志望する受験者は、口述試験の時に約6分間で、A4用紙（横向きレイアウト）5枚以内にまとめたプリントを使用しながら卒業研究等の発表をしてもらいます。発表は教材提示装置でプリントをスクリーンに投影して行います（A4用紙1枚で1画面）ので、プリントを準備して必ずお持ちください。

(3) 地球科学コースを志望する受験者は、口述試験の時に10分以内で卒業研究等の発表をしてもらいますのでパワーポイント等を用いて準備をしておいてください。

12 口述試験受験有資格者の発表

口述試験の受験有資格者は、筆記試験及び英語外部試験（数学コース、物理学コースを除く）の得点を基に決定します。（物理学コースでは最終的な合格者決定の際に英語試験の得点を利用します。）

『口述試験受験有資格者』は、2025年8月28日（木）の午後7時00分頃に、理学部Webサイト（<https://www.sci.shizuoka.ac.jp/>）で発表します。

また、同時に口述試験の集合時間及び集合場所も掲載しますので、必ず確認し、翌日遅刻しないように注意してください。

13 合格発表

2025年9月5日（金）の正午（予定）に、理学部Webサイト

（<https://www.sci.shizuoka.ac.jp/>）に掲載するとともに、合格者には郵送で通知します。

14 入学手続き

2026年3月上旬までに行う予定です。入学手続きの詳細な案内（入学料・授業料の免除申請を含む。）については、2026年2月中旬までに本人あてに郵送します。

15 入学料及び授業料

◆ 入学料 282,000円《2025年度実績額》

◆ 授業料 年額 535,800円（半期分267,900円）《2025年度実績額》

《注》

① 前期分の授業料は、2026年4月1日（水）から同年4月30日（木）までに納入してください。

② 入学手続き時に納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。

③ 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

④ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

16 欠員補充

各コースの合格者が募集人員に満たない場合は、不足するコースにおいて第2次募集を行い

ますが、追加合格による欠員補充は実施しません。

17 注意事項

- (1) 筆記試験及び口述試験の際には、必ず受験票を携帯してください。
- (2) 出願後、提出書類の内容変更は認められません。
- (3) 一度納入した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料の返還請求ができる場合

- ア 検定料を払い込んだが、本学大学院に出願しなかった場合
- イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ウ 出願書類、出願要件に不備があり、出願が受理されなかった場合

② 返還する検定料の金額

志願者本人の申し出により二重払い込み分又は全額を返還します。

③ 検定料返還請求の方法

上記のア又はイに該当する場合は、便せん等を使って、次の1～8を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「郵便振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」又は「払込金受領証」を添付して、2025年8月22日（金）〔必着〕までに静岡大学理学部学務係（〒422-8529 静岡市駿河区大谷836）へ郵送してください。

ウの場合は出願書類返却時に、「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

静岡大学大学院入学検定料返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 入試区分（一般入試）
- 3 出願しようとした大学院研究科専攻コース名
- 4 氏名（フリガナ）
- 5 現住所（フリガナ）
- 6 連絡先電話番号
- 7 返還請求額
- 8 返還金振込先
 - ・金融機関名（金融機関コード）、支店名（支店コード）
 - ・預金種別（当座・普通）、口座番号
 - ・口座名義人（フリガナ）
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

■ 大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置について

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除又は返還します。

詳しくは、静岡大学学部入試専用サイト

(<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi/>) をご覧ください。

- (4) 合格者のうち現在在職中の者及び2026年4月から就職予定の者は、入学手続きの際、その所属長の『就学承諾書』を必要とするので、あらかじめ準備しておいてください。
- (5) 募集要項の請求又は入学試験に関する照会は、下記の「問合せ先」に行ってください。
なお、募集要項を郵送により請求する場合は、封筒の表面に「修士課程理学専攻募集要項請求」と朱書きし、あて先を明記した返信用封筒（角形2号：33cm×24cmに、320円切手を貼付したもの。）を同封してください。

《 問合せ先 》

静岡大学理学部学務係
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
TEL (054) 238-4861

自己推薦型入試

【2026年4月入学】

1 自己推薦型入試の趣旨

近年、科学技術の進展と広がりが著しく、新しい学問分野のみならず、既存の学問体系の枠を越えた学際的学問分野等の開拓も重要となってきています。こうした社会的要請に応えるべく、本専攻では学生一人一人に特徴ある教育と研究を課すことを目的として、本学出身者及び他の大学、学部出身の学生にも門戸を拓いた入試を実施することとしました。

すなわち、本学及び他大学出身者で、学問・研究に積極的かつ優秀な学生であれば、他分野を専攻した者も含め、入学を歓迎するというもので、その選抜は、出願書類の審査及び面接試験によって行う特別の制度です。

2 出願資格

2026年3月に大学を卒業見込みの者で、次の要件を満たす者

- (1) 数学、物理学、化学、生物科学あるいは地球科学に深い関心と熱意を有し、創造的な研究活動に意欲的に取り組める者
- (2) 二次選抜に合格した場合、入学を確約できる者

3 コース別募集人員

コース	教育研究分野	募集人員
数 学	基礎数理、数理解析	4 名
物 理 学	素粒子・宇宙、原子核物理学、基礎物理学、物性物理学	7 名
化 学	物理化学、無機化学、有機化学、生物化学、放射化学	5 名
生物科学	環境応答学、生体調節学、細胞・発生プログラム学	5 名
地球科学	地球ダイナミクス、生物環境科学	5 名

4 研究指導担当教員の選定について

出願に当たっては、『理学専攻コース概要（29、30頁）』及び『理学専攻コース紹介（31～35頁）』を参照し、自分の希望に沿った志望教育研究分野及び志望教育研究項目を決定してください。

なお、出願前に志望する教員に必ず連絡を取り、研究テーマ等について相談すること。

教員の連絡先は、理学部 Web サイト (<https://www.sci.shizuoka.ac.jp/about/staffs222>) で確認してください。連絡先が確認できない場合は、16頁の「問合せ先」に照会してください。

5 願書受付期間

2025年5月19日（月）～2025年5月23日（金）

（窓口受付時間は、9時から12時30分及び13時30分から16時の間です。）

郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書（自己推薦型入試）在中」と朱書きしてください。なお、郵送の場合は2025年5月23日（金）16時必着とします。

6 願書提出先

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 8 3 6

静岡大学理学部学務係 TEL (054) 238-4861

7 出願書類等

入 学 願 書	本専攻所定の用紙に必要事項を記入してください。
---------	-------------------------

入 学 検 定 料 30,000円	同封の「払込取扱票」により、郵便局の受付窓口で払込んでください。 ※払込後の返還については、「16 注意事項」をお読みください。
振替払込受付証明書 (入学検定料受付証明書)	本専攻所定の用紙に必要事項を記入のうえ証明書を貼付したもの。
成 績 証 明 書	出身大学長又は学部長が作成したもの。
卒業見込証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。 本学の理学部を卒業または卒業見込みの者は提出不要です。
自 己 推 薦 書	大学時代に興味を持った内容とこれまでの学習経過、そして今後の学習及び研究に対する抱負について、任意のA4判用紙2枚以内（縦長横書き）にまとめたもの。 学術論文、著書、学会発表、静岡大学理学部の研究室でのインターンシップ参加経験等があれば、特記事項として記入してください。
返 信 用 封 筒	本専攻所定の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、110円分の切手を貼付したもの。（受験票送付用。海外への送付を希望する場合は郵送料を理学部学務係に確認してください。）
あ て 名 票	本専攻所定の用紙に郵便番号・住所・氏名を明記してください。（合格通知書・入学手続案内送付用）

8 選抜方針

入学願書、成績証明書、自己推薦書及び個人面接の結果を総合的に判断し、合格者を決定します。

9 選抜方法

《一次選抜》

入学願書、成績証明書及び自己推薦書について総合的に判断し、『二次選抜受験有資格者』を決定します。

《二次選抜》

二次選抜受験有資格者に対して、面接試験を行います。

10 二次選抜受験有資格者の発表

一次選抜の合格者は『二次選抜受験有資格者』として、2025年6月13日（金）までに理学部 Web サイト (<https://www.sci.shizuoka.ac.jp/>) で発表します。

二次選抜についての重要な情報も掲載しますので、必ず確認してください。

11 試験日時及び試験場

《二次選抜（面接試験）》

（1）試験日時：2025年7月3日（木）13時30分～

（2）試験場：静岡大学理学部（静岡市駿河区大谷836）

※集合時刻及び集合場所等の詳細は、『二次選抜受験有資格者』の発表とあわせて理学部Webサイトに掲載します。

12 各試験の受験方法

《二次選抜（面接試験）》

（1）生物科学コースを志望する受験者は、面接試験の時に約6分間で、A4用紙（横向きレイアウト）5枚以内にまとめたプリントを使用しながら卒業研究等の発表をしてもらいます。発表は教材提示装置でプリントをスクリーンに投影して行います（A4用紙1枚で1画面）ので、プリントを準備して必ずお持ちください。

- (2) 地球科学コースを志望する受験者は、面接試験の時に10分以内で卒業研究等の発表をしてもらいますのでパワーポイント等を用いて準備をしておいてください。

13 合格発表

2025年7月11日(金)の正午(予定)に、理学部Webサイト(<https://www.sci.shizuoka.ac.jp/>)に掲載するとともに、合格者には郵送により通知します。

14 入学手続き

2026年3月上旬までに行う予定です。入学手続きの詳細な案内(入学料・授業料の免除申請を含む。)については、2026年2月中旬までに本人あてに郵送します。

15 入学料及び授業料

- ◆ 入学料 282,000円《2025年度実績額》
- ◆ 授業料 年額 535,800円(半期分267,900円)《2025年度実績額》

《注》

- ① 前期分の授業料は、2026年4月1日(水)から同年4月30日(木)までに納入してください。
- ② 入学手続き時に納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- ③ 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
- ④ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

16 欠員補充

各コースの合格者が募集人員に満たない場合でも、追加合格及び第2次募集は行いません。なお、欠員がある場合には、その人数を一般入試の同コースの募集人員に含めます。

17 注意事項

- (1) 試験の際には、必ず受験票を携帯してください。
- (2) 出願後、提出書類の内容変更は認められません。
- (3) 一度納入した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 検定料の返還請求ができる場合
 - ア 検定料を払い込んだが、本学大学院に出願しなかった場合
 - イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ 出願書類、出願要件に不備があり、出願が受理されなかった場合

- ② 返還する検定料の金額
志願者本人の申し出により二重払い込み分又は全額を返還します。

- ③ 検定料返還請求の方法

上記のア又はイに該当する場合は、便せん等を使って、次の1～8を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「郵便振替払込受付証明書(入学検定料受付証明書)」又は「払込金受領証」を添付して、2025年6月26日(木)〔必着〕までに静岡大学理学部学務係(〒422-8529 静岡市駿河区大谷836)へ郵送してください。

ウの場合は出願書類返却時に、「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

静岡大学大学院入学検定料返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 入試区分（自己推薦型入試）
- 3 出願しようとした大学院研究科専攻コース名
- 4 氏名（フリガナ）
- 5 現住所（フリガナ）
- 6 連絡先電話番号
- 7 返還請求額
- 8 返還金振込先
 - ・金融機関名（金融機関コード）、支店名（支店コード）
 - ・預金種別（当座・普通）、口座番号
 - ・口座名義人（フリガナ）
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

■ 大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置について

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除又は返還します。

詳しくは、静岡大学学部入試専用サイト

(<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi/>) をご覧ください。

- (4) 合格者のうち現在在職中の者及び2026年4月から就職予定の者は、入学手続きの際、その所属長の『就学承諾書』を必要とするので、あらかじめ準備しておいてください。
- (5) 募集要項の請求又は入学試験に関する照会は、下記の「問合せ先」に行ってください。

なお、募集要項を郵送により請求する場合は、封筒の表面に「修士課程理学専攻募集要項請求」と朱書きし、宛先を明記した返信用封筒（角形2号：33cm×24cmに、320円切手を貼付したもの。）を同封してください。

《 問合せ先 》

静岡大学理学部学務係

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL (054) 238-4861

外国人留学生入試

【2026年4月入学】

1 出願資格

日本国籍を有しない者で、入学後、出入国管理及び難民認定法に定められている「留学」の資格を得るのに支障のない在留資格を有し、次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本専攻が認めた者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与見込みの者

《注》 (2)の資格で出願する場合は、事前審査を行うので「4 事前審査」の内容に従って出願してください。

2 コース別募集人員

コース	教育研究分野	募集人員
数 学	基礎数理、数理解析	若干名
物 理 学	素粒子・宇宙、原子核物理学、基礎物理学、物性物理学	若干名
化 学	物理化学、無機化学、有機化学、生物化学、放射化学	若干名
生物科学	環境応答学、生体調節学、細胞・発生プログラム学	若干名
地球科学	地球ダイナミクス、生物環境科学	若干名

3 研究指導担当教員の選定について

出願に当たっては、『理学専攻コース概要（29、30頁）』及び『理学専攻コース紹介（31～35頁）』を参照し、自分の希望研究分野に沿った志望教育研究分野及び志望教育研究項目を決定してください。

なお、出願前に志望する教員に必ず連絡を取り、研究テーマ等について相談すること。

教員の連絡先は、理学部 Web サイト (<https://www.sci.shizuoka.ac.jp/about/staffs222>) で確認してください。連絡先が確認できない場合は、23頁の「問合せ先」に照会してください。

4 事前審査

「1 出願資格」(2)の資格で出願を希望する場合は、次の書類を2025年6月20日(金)までに「6 願書提出先」へ提出してください。

事前審査申請書	本専攻所定の用紙に必要事項を記入
推 薦 書	本専攻所定の用紙に出願者が在籍する大学の指導教員を含む複数の教員が所見を記入のうえ、当該学部長が推薦し、厳封したもの。
成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。原本を提出のこと。 日本語又は英語以外で書かれている場合は和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを大使館、公証役場等で証明を受け

	て添付してください。
返信用封筒	長形3号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、110円切手を貼付したもの。(事前審査結果通知用。海外への送付を希望する場合は郵送料を理学部学務係に確認してください。)

※事前審査結果は、2025年7月4日(金)までに申請者あてに郵送します。事前審査合格者は、「5 願書受付期間」、「7 出願書類等」により出願手続きを行ってください。

5 願書受付期間

2025年7月18日(金)～2025年7月25日(金) ※土日祝を除く

(窓口受付時間は、9時から12時30分及び13時30分から16時の間)

郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書(外国人留学生)在中」と朱書きしてください。なお、郵送の場合は2025年7月25日(金)16時必着とします。

6 願書提出先

〒422-8529 静岡県駿河区大谷836

静岡大学理学部学務係 TEL(054)238-4861

7 出願書類等

外国人留学生入学願書	本専攻所定の用紙(別途請求、「16 注意事項」参照)
入学検定料 30,000円 (国費留学生は不要)	同封の「払込取扱票」により、郵便局の受付窓口で払込んでください。 ※払込後の返還については、「16 注意事項」をお読みください。
振替払込受付証明書 (入学検定料受付証明書)	本専攻所定の用紙に必要事項を記入のうえ証明書を貼付したもの。
学業成績証明書及び 卒業(見込)証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。原本を提出のこと。 日本語又は英語以外で書かれている場合は和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを大使館、公証役場等で証明を受けて添付してください。
受験許可書	学長又は研究科長が発行したもの(他の大学院に在学中の者のみ。ただし、2026年3月修了見込みの者を除く。)
返信用封筒	本専攻所定の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、110円切手を貼付したもの。(受験票送付用、海外への送付を希望する場合は郵送料を理学部学務係に確認してください。)
あて名票	本専攻所定の用紙に郵便番号・住所・氏名を明記してください。(合格通知書・入学手続案内送付用)
国費留学生証明書 (様式任意)	他大学に在籍している国費外国人留学生は、当該大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。
英語外部試験の 成績証明書類の写し	数学コース以外 に出願する者は、以下の3つの英語外部試験のいずれかひとつの成績証明書類を、A4サイズ of 用紙にコピーして提出してください。(TOEIC でテスト結果のみが表示された Web 画面を印刷したものは不可) なお、TOEIC L&R については、2022年4月1日以降に受験したもの(所属団体・大学のIPテストを含む)を、それ以外の外部試験については2022年8月1日以降に受験したものを有効とします。 ・TOEIC L&R (IPテストも可) ・TOEFL iBT

	・ IELTS (Academic Module) ※英語外部試験の成績証明書類は、試験実施団体が発行したスコアシートや証明書 (Certificate) など、受験者の氏名、日付、得点が記載されたものを指しています。 ※成績証明書類については、<u>口述試験時に原本を確認</u>しますので、受験時に必ず持参してください。(TOEFL iBT の場合は、「Test Taker Score Report : 受験者用控えスコアレポート」の郵送版を持参してください。) ※2023年4月以降に TOEIC L&R を受験してデジタル公式認定証の発行を受けた場合は、原本証明用 QR コードが表示された PDF 版スコアシートを印刷して出願時に提出すれば、口述試験時の原本持参は省略できます。
--	---

※ その他、出身大学の指導教員が作成した推薦書を添付しても構いません。

8 選抜方針

《数学コース》

解析学、代数学、幾何学、数理論理学などの数学の基礎知識を活かして、さらに高度な数学的素養を身につけ、数学の研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を育成します。そのための能力・学力・適性などを次の試験で総合的に判断します。

(1) 筆記試験

専 門：数学に関する基礎学力、論理的思考力および表現力を判断します。また、一部の問題は英語で出題され、英語を理解し英語で解答が記述できる能力を評価します。

(2) 口述試験

筆記試験では判断できない数学の基礎学力、論理的思考力、表現力などを判断します。この他、志望動機、将来の目標、意欲・熱意など学習・研究に対する態度も評価します。

《物理学コース》

力学、電磁気学、量子力学、統計力学などの物理学の基礎知識を活かして、さらに高度な物理的素養を身につけると同時に、具体的な物理的課題に取り組み解決していく能力を養うことにより、物理的研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を養成します。そのための能力・学力・適性などを、次の試験において判断します。

(1) 筆記試験

専 門：本コースにおいて、学習・研究するために必要な基礎学力を判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

筆記試験では判断できない、物理学の理解度や本コースにおける研究に対する適性などを総合的に判断します。

《化学コース》

物理化学、無機化学、有機化学、生物化学、放射化学などの化学の基礎知識を活かして、さらに高度な化学的素養を身につけると同時に、具体的な化学的課題に取り組み解決していく能力を養うことにより、化学的研究・教育・応用のどの方面に進んでも創造性を十分に発揮できる人材を養成します。そのための能力・学力・適性などを、次の試験において判断します。

(1) 筆記試験

専 門：化学に関する基礎学力及び志望する研究分野の専門的学力などを総合的に判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うた

めに必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

志望動機や将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎学力、論理的思考力、表現力などを判断します。

《生物科学コース》

生物科学の諸問題に対してマクロな視点でとらえつつ、ミクロな細胞・遺伝子レベルでも専門的に対応できる応用力豊かな人材を育成することを目標とし、修士課程で行う研究を遂行するに足る興味と動機、基礎学力、研究上の能力などを、次の各試験を通じて総合的に判断します。

(1) 筆記試験

専 門：本コースにおいて、研究を行うための基本となる専門基礎知識と論理的思考力を判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

受験者が学部等において行ってきた研究内容に関する質疑応答を行い、研究についての基礎知識、理解度、論理的思考能力、表現力、考察力及び討論する力を判断します。この他、将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度もあわせて評価します。

《地球科学コース》

地球科学及び環境科学の諸問題に専門的立場から対応できる人材を育成することを目標とし、修士課程で行う研究を遂行するに足る興味と動機、基礎学力、研究上の能力などを、次の各試験を通じて総合的に判断します。

(1) 筆記試験

専 門：本コースにおいて、研究を行うための基本となる専門基礎知識と論理的思考力を判断します。

(2) 英語

英文の読解力、英語での表現力やリスニング能力など、大学院で学習・研究を行うために必要な英語力を評価するため、これらを総合的に評価できる英語外部試験のスコアを判定に用います。

(3) 口述試験

受験者が学部等において行ってきた研究内容に関する質疑応答を行い、研究についての基礎知識、理解度、論理的思考能力、表現力、考察力及び討論する力を判断します。この他、将来の目標、意欲・熱意などの学習・研究に対する態度もあわせて評価します。

9 選抜方法

(1) 各試験の配点は以下のとおりとします。

コース名	筆記試験	口述試験	英 語
数 学	専門 (100 点)	口述 (200 点)	英語外部試験の結果は、CEFR の定める換算表を参考に 50 点満点の得点に換算して審査します。
物 理 学	専門 (100 点)	口述 (100 点)	
化 学	専門 (100 点)	口述 (100 点)	
生物科学	専門 (100 点)	口述 (100 点)	
地球科学	専門 (100 点)	口述 (100 点)	

(2) 各試験の合計点により順位付けを行い、コースごとに高得点の者から順に合格とします。

10 試験日時及び試験場

《筆記試験》

(1) 試験日時：2025年8月28日（木）

◇ 数学・物理学・生物科学・地球科学コース：9時30分～12時30分

◇ 化学コース：9時30分～11時30分

(2) 試験場：静岡大学理学部（静岡市駿河区大谷836）

※集合時刻及び集合場所等の詳細は、受験票と共に送付される案内文書で通知します。

《口述試験》

(1) 試験日時：2025年8月29日（金）9時00分～

(2) 試験場：静岡大学理学部（静岡市駿河区大谷836）

※集合時刻及び集合場所等の詳細は、『口述試験受験有資格者』の発表とあわせて理学部Webサイトに掲載します。

11 各試験の受験方法

《筆記試験》

(1) 各コースとも和文による出題（希望者には英訳文付き）とし、日本語又は英語で解答してもらいます。

(2) 数学コースの筆記試験の問題は、微分積分、線形代数、位相空間等に関する4つの問題からなり、そのうちの1つは、英語を理解し英語で解答する問題です。

(3) 化学コースの筆記試験においては、「有機化学」「無機化学」「物理化学」「生物化学」「放射化学」の5問から、2問を選択して解答してもらいます。

《口述試験》

(1) 各コースが定める方法により実施し、日本語能力の審査を含みます。

(2) 数学コース以外の受験者は、口述試験時に英語外部試験の成績証明書類の原本を確認するので、必ず持参してください。（TOEIC L&R のデジタル公式認定証を提出した場合は不要）

(3) 生物科学コースを志望する受験者は、口述試験の時に約6分間で、A4用紙（横向きレイアウト）5枚以内にまとめたプリントを使用しながら卒業研究等の発表をしてもらいます。発表は教材提示装置でプリントをスクリーンに投影して行います（A4用紙1枚で1画面）ので、プリントを準備して必ずお持ちください。

(4) 地球科学コースを志望する受験者は、口述試験の時に10分以内で卒業研究等の発表をしてもらいますのでパワーポイント等を用いて準備をしておいてください。

12 口述試験受験有資格者の発表

口述試験の受験有資格者は、筆記試験及び英語外部試験（数学コース、物理学コースを除く）の得点を基に決定します。（物理学コースでは最終的な合格者決定の際に英語試験の得点を利用します。）

『口述試験受験有資格者』は、2025年8月28日（木）の午後7時00分頃に、理学部Webサイト（<https://www.sci.shizuoka.ac.jp/>）で発表します。

また、同時に口述試験の集合時間及び集合場所も掲載しますので、必ず確認し、翌日遅刻しないように注意してください。

13 合格発表

2025年9月5日（金）の正午（予定）に、理学部Webサイト

（<https://www.sci.shizuoka.ac.jp/>）に掲載するとともに、合格者には郵送で通知します。

14 入学手続き

2026年3月上旬に行う予定です。入学手続きの詳細な案内（入学料・授業料の免除申請を含む。）については、2026年2月中旬までに本人あてに郵送します。

15 入学料及び授業料

- ◆ 入学料 282,000円《2025年度実績額》
 - ◆ 授業料 年額 535,800円（半期分267,900円）《2025年度実績額》
- 《注》

- ① 前期分の授業料は、2026年4月1日（水）から同年4月30日（木）までに納入してください。
- ② 入学手続き時に納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- ③ 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
- ④ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

16 注意事項

- (1) 外国人留学生入試の受験希望者は、「7 出願書類等」に記載されている『外国人留学生入学願書』を別途請求してください。その際、あて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cmに、110円切手（海外への送付を希望する場合は郵送料を理学部学務係に確認してください。）を貼付したもの。）及び以下の事項を明記した文書（様式任意）を同封してください。

- ① 氏名（フリガナ） ② 現住所 ③ 連絡先電話番号 ④ 志望コース
- ⑤ 第一から第三志望の志望教育研究分野及び教員

- (2) 筆記試験及び口述試験の際には、必ず受験票を携帯してください。

- (3) 出願後、提出書類の内容変更は認められません。

- (4) 一度納入した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 検定料の返還請求ができる場合

ア 検定料を払い込んだが、本学大学院に出願しなかった場合

イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

ウ 出願書類、出願要件に不備があり、出願が受理されなかった場合

- ② 返還する検定料の金額

志願者本人の申し出により二重払い込み分又は全額を返還します。

- ③ 検定料返還請求の方法

上記のア又はイに該当する場合は、便せん等を使って、次の1～8を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「郵便振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」又は「払込金受領証」を添付して、2025年8月22日（金）〔必着〕までに静岡大学理学部学務係（〒422-8529 静岡市駿河区大谷836）へ郵送してください。

ウの場合は出願書類返却時に、「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

静岡大学大学院入学検定料返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 入試区分（外国人留学生入試）
- 3 出願しようとした大学院研究科専攻コース名
- 4 氏名（フリガナ）
- 5 現住所（フリガナ）
- 6 連絡先電話番号
- 7 返還請求額
- 8 返還金振込先
 - ・金融機関名（金融機関コード）、支店名（支店コード）
 - ・預金種別（当座・普通）、口座番号
 - ・口座名義人（フリガナ）
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

- 大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置について

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除又は返還します。

詳しくは、静岡大学学部入試専用サイト

〈<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi/>〉をご覧ください。

- (5) 合格者のうち現在在職中の者及び2026年4月から就職予定の者は、入学手続きの際、その所属長の『就学承諾書』を必要とするので、あらかじめ用意しておいてください。
- (6) 募集要項の請求又は入学試験に関する照会は、下記の「問合せ先」に行ってください。なお、募集要項を郵送により請求する場合は、封筒の表面に「修士課程理学専攻募集要項請求」と朱書きし、宛先を明記した返信用封筒（角形2号：33cm×24cmに、320円切手を貼付したもの。）を同封してください。

《 問合せ先 》

静岡大学理学部学務係

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL (054) 238-4861

一 般 入 試（10 月期入学）

【2025年10月入学】

2025年の「一般入試（10月期入学）」は、2026年4月入学の「一般入試」の学生募集要項に基づいて実施します。「1 出願資格」、「2 コース別募集人員」、「3 入学手続き」及び「4 入学料及び授業料」以外の詳細については、本冊子6頁からの「一般入試」を参照してください。

1 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2025年9月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2025年9月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本専攻において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本専攻が、個別の入学資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年9月30日までに22歳に達するもの

《注1》 （9）・（10）の資格で出願する場合は、事前審査を行うので「一般入試」の「4 事前審査」の内容にしたがって出願してください。

2 コース別募集人員

コース	教育研究分野	募集人員
数 学	基礎数理、数理解析	若干名
物 理 学	— — — — —	募集しません
化 学	物理化学、無機化学、有機化学、生物化学、放射化学	若干名
生物科学	環境応答学、生体調節学、細胞・発生プログラム学	若干名
地球科学	地球ダイナミクス、生物環境科学	若干名

3 入学手続き

2025年9月中に行う予定です。入学手続きの詳細な案内については、合格通知書とあわせて本人あてに郵送します。

4 入学料及び授業料

- ◆ 入学料 282,000円《2025年度実績額》
- ◆ 授業料 年額 535,800円（半期分267,900円）《2025年度実績額》

《注》

- ① 後期分の授業料は、2025年10月1日（水）から同年10月31日（金）までに納入してください。
- ② 入学手続き時に納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- ③ 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
- ④ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

自己推薦型入試（10月期入学）

【2025年10月入学】

2025年の「自己推薦型入試（10月期入学）」は、2026年4月入学の「自己推薦型入試」の学生募集要項に基づいて実施します。「1 出願資格」、「2 コース別募集人員」、「3 入学手続き」及び「4 入学料及び授業料」以外の詳細については、本冊子13頁からの「自己推薦型入試」を参照してください。

1 出願資格

2021年10月に大学に入学し、2025年9月卒業見込みの者で、次の要件を満たす者

- (1) 数学、物理学、化学、生物科学あるいは地球科学に深い関心と熱意を有し、創造的な研究活動に意欲的に取り組める者
- (2) 二次選抜に合格した場合、入学を確約できる者

2 コース別募集人員

コース	教育研究分野	募集人員
数 学	基礎数理、数理解析	若干名
物 理 学	素粒子・宇宙，原子核物理学、基礎物理学、物性物理学	若干名
化 学	物理化学、無機化学、有機化学、生物化学、放射化学	若干名
生物科学	環境応答学、生体調節学、細胞・発生プログラム学	若干名
地球科学	地球ダイナミクス、生物環境科学	若干名

3 入学手続き

2025年9月中に行う予定です。入学手続きの詳細な案内については、2025年8月下旬までに本人あてに郵送します。

4 入学料及び授業料

- ◆ 入学料 282,000円《2025年度実績額》
- ◆ 授業料 年額 535,800円（半期分267,900円）《2025年度実績額》

《注》

- ① 入学手続き時に納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- ② 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
- ③ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- ④ 本学のABP学士課程を卒業後に自己推薦型入試により進学する場合、検定料は全額不徴収（後日返還）、入学料は全額不徴収、授業料は1年目にあつては全額不徴収、2年目以降修業年限を超えない期間にあつては、成績により全額不徴収、半額不徴収、又は全額徴収とします。ただし、入学者数が定められた不徴収人数枠を超えた場合は、選考の上で対象者を決定します。

入学試験情報の提供

本専攻では、入学試験に関して、以下のとおり情報を提供しています。

(1) インターネット

募集要項等は理学部Webサイトに掲載しています。

〔URL〕 <https://www.sci.shizuoka.ac.jp/>

(2) 入試成績情報の開示

静岡大学大学院には、入試情報の開示制度があります。当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を、2025年11月17日（月）から2025年12月15日（月）の間に受け付けます。詳細は、本学学務部入試課までお問い合わせください。

《学務部入試課》

TEL（054）238－4464

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

(3) 試験問題の閲覧

大学院の過去問題については、入試情報閲覧室（静岡キャンパス共通教育A棟4階）及び理学部学務係で閲覧をすることができます。

また、地球科学コース以外の過去問については、以下のWebサイトでも非公開の部分を除き閲覧することが可能です。

〔URL〕 https://www.sci.shizuoka.ac.jp/exam/gr_exam/past_question

個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

(1) 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続き業務、④入学者選抜方法及び大学院教育改善のための調査・研究を行うために利用します。

(2) 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収、④入学者選抜方法及び大学院教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。

長期履修学生制度について

長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの理由により、標準修業年限（修士課程では2年間）で大学院課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて修士課程においては4年間以内の計画的な履修を認める制度で、長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳しい内容については、理学部学務係までお問い合わせください。

障害等のある入学志願者への受験上の配慮について

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、出願する前に本研究科と相談する必要がありますので、下記により申請して下さい。

相談の結果は決定次第、本人に連絡します。

なお、申請前に本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申請期限	原則として出願期限日の1か月前まで
申請の方法	『大学院受験上の配慮申請書』に、『障害者手帳』の写し又は医師の『診断書』を添えて申請して下さい。 なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。
連絡先	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学理学部学務係 TEL 054-238-4861 FAX 054-237-9895

【注】

- ① 郵便による照会及び『大学院受験上の配慮申請書』の用紙を請求する場合は、110円分の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した『返信用封筒（長形3号：23.5cm×12cm）』を同封のうえ、上記連絡先まで送付して下さい。
- ② 電話による照会及び『大学院受験上の配慮申請書』を持参する場合は、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けませんので注意して下さい。

安全保障輸出管理について

静岡大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入に際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」

静岡大学規則集 <https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.htm>
第2章 組織・運営＞静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」

[和文ページ] <https://www.meti.go.jp/policy/ampo/gaiyou.html>

[ENGLISH PAGE] <https://www.meti.go.jp/policy/ampo/englishpage.html>

理学専攻コース概要（教育研究項目）

（注）教員欄の①印は2027年3月31日退職予定、②印は2028年3月31日退職予定

*は、放射科学教育プログラム担当教員

コース	教 員			教育研究分野	教 育 研 究 項 目	
数 学	M 1	教 授	①鈴木 信 行	基礎数理	数理論理学(非古典論理)	M 1
	M 2	教 授	毛利 出		代数学(非可換代数幾何学)	M 2
	M 3	准教授	保 坂 哲 也		幾何学(幾何学的群論)	M 3
	M 4	准教授	依 岡 輝 幸		数理論理学(公理的集合論)	M 4
	M 5	准教授	木 村 杏 子		代数学(組合せ論的可換環論)	M 5
	M 6	准教授	四ツ谷 直仁		複素幾何学(ケーラー幾何学)	M 6
	M 7	教 授	②田 中 直 樹	数 理 解 析	実解析学(作用素半群論・発展方程式)	M 7
	M 8	教 授	②松 本 敏 隆		関数解析学(非線形発展方程式論)	M 8
	M 9	准教授	足 立 真 訓		複素解析学(複素解析幾何学)	M 9
	M 10	准教授	岡 村 和 樹		確率論(確率過程論)	M 10
物 理 学	P 1	教 授	土 屋 麻 人	素 粒 子 ・ 宇 宙 , 原 子 核 物 理 学	素粒子論	P 1
	P 2	准教授	森 田 健		素粒子論	P 2
	P 3	准教授	内 山 秀 樹		X線天文学	P 3
	P 4	准教授	斉 藤 俊 貴		電波・赤外線天文学	P 4
	P 5	教 授	②鈴木 淳 史	基 礎 物 理 学	統計力学・物性基礎論	P 5
	P 6	教 授	松 本 正 茂		物性理論	P 6
	P 7	教 授	古 賀 幹 人		物性理論(強相関電子系)	P 7
	P 8	准教授	弓 削 達 郎		非平衡物理学	P 8
	P 9	講 師	POHLE Rico		量子多体系の理論研究	P 9
	P 10	教 授	海老原 孝雄	物 性 物 理 学	強相関電子系の物性(磁性と伝導・超伝導)	P 10
	P 11	教 授	岡 俊 彦		ソフトマター物理学・生物物理学	P 11
	P 12	教 授	阪 東 一 毅		半導体光物性	P 12
	P 13	教 授	清 水 康 弘		磁気共鳴	P 13
	P 14	准教授	嶋 田 大 介		固体物性・超伝導	P 14
	P 15	講 師	野 村 肇 宏		固体物性(磁性・誘電物性)	P 15
	P 16	講 師	廣 部 大 地		スピントロニクスの基礎物理	P 16
化 学	C 1	教 授	岡 林 利 明	物 理 化 学	分子分光・構造化学	C 1
	C 2	教 授	②関 根 理 香		数理化・計算法学・量子化学	C 2
	C 3	准教授	河 合 信之輔		物理化学・反応動力学	C 3
	C 4	准教授	松 本 剛 昭		クラスター科学・レーザー分光学	C 4
	C 5	教 授	近 藤 満	無 機 化 学	機能性金属錯体の合成	C 5
	C 6	教 授	加 藤 知 香		無機化学・触媒化学	C 6
	C 7	准教授	守 谷 誠		錯体化学・分子イオニクス	C 7
	C 8	講 師	仁 科 直 子		錯体化学・有機金属化学	C 8
	C 9	教 授	②小 林 健 二	有 機 化 学	分子集合体・超分子化学	C 9
	C 10	准教授	塚 田 直 史		有機合成化学・金属錯体触媒	C 10
	C 11	准教授	関 朋 宏		有機機能性材料化学	C 11
	C 12	教 授	②山 本 歩	生 物 化 学	分子細胞生物学・情報生化学	C 12
	C 13	准教授	大 吉 崇 文		核酸化学・生物化学	C 13
	C 14	准教授	*大 矢 恭 久	放 射 化 学	ベータ放射体の化学, 核エネルギーシステムの化学	C 14
	C 15	准教授	*近 田 拓 未		先進エネルギー材料化学, 水素同位体の化学	C 15

コース	教 員			教育研究分野	教 育 研 究 項 目	
生 物 科 学	B 1	教 授	栗 井 光一郎	環 境 応 答 学	光合成生物の脂質分子生理学	B 1
	B 2	教 授	木 寄 暁 子		植物分子生物学	B 2
	B 3	准教授	天 野 豊 己		植物におけるタンパク質工学	B 3
	B 4	准教授	徳 岡 徹		分子系統学, 形態学	B 4
	B 5	助 教	村 上 博 紀		植物・藻類分子生理学	B 5
	B 6	助 教	須 崎 大 地		植物生殖発生学, 細胞生物学	B 6
	B 7	教 授	①藤 原 健 智	生 体 調 節 学	硝化・脱窒細菌, 好塩性古細菌の生化学	B 7
	B 8	教 授	鈴 木 雅 一		環境適応, 内分泌系, 系統発生	B 8
	B 9	教 授	日下部 誠		浸透圧調節, 比較内分泌学	B 9
	B 10	准教授	石 原 顕 紀		分子生物学, バイオインフォマティクス	B 10
	B 11	准教授	岡 田 令 子		動物生理・生化学	B 11
	B 12	助 教	伊 藤 舜		進化生態学, 島嶼生物学, 貝類学	B 12
	B 13	教 授	①丑 丸 敬 史	細胞・発生プログラム学	細胞増殖制御の解析	B 13
	B 14	教 授	徳 元 俊 伸		生殖生物学	B 14
	B 15	教 授	道 羅 英 夫		共生の分子細胞生物学	B 15
	B 16	准教授	雪 田 聡		器官・組織形成, 細胞分化	B 16
	B 17	准教授	小 池 亨		細胞分化・組織形成機構, 発生生物学	B 17
	B 18	助 教	後 藤 寛 貴		進化発生学, 形態形成, 昆虫科学	B 18
地 球 科 学	G 1	教 授	川 本 竜 彦	地 球 ダイナミクス	水とマグマ・海水マントル相互作用・海水組成変化	G 1
	G 2	准教授	石 橋 秀 巳		岩石学・火山学	G 2
	G 3	准教授	生 田 領 野		地震学・測地学・固体地球物理学	G 3
	G 4	准教授	田 阪 美 樹		岩石鉱物物理, 実験岩石学	G 4
	G 5	准教授	平 内 健 一		構造地質学・実験岩石学	G 5
	G 6	准教授	三 井 雄 太		固体地球物理学	G 6
	G 7	教 授	②北 村 晃 寿	生 物 環 境 科 学	古環境学	G 7
	G 8	教 授	佐 藤 慎 一		古生態学	G 8
	G 9	教 授	木 村 浩 之		地球微生物学・環境ジェノミクス	G 9
	G 10	准教授	宗 林 留 美		生物海洋化学	G 10
	G 11	准教授	鈴 木 雄太郎		進化古生物学・機能形態学	G 11
	G 12	准教授	Dur Gaël		プランクトンの生態学	G 12
	G 13	講 師	久 保 篤 史		生物地球化学	G 13
	G 14	助 教	Legrand Julien		古植物学・古花粉学	G 14

理学専攻コース紹介（主要研究内容）

注1：出願に先立って、必ず研究指導担当教員に問い合わせること。

注2：下表は現時点での研究内容になります。

注3：氏名欄の①印は2027年3月31日退職予定，②印は2028年3月31日退職予定，

*は，放射科学教育プログラム担当教員

【数 学 コ ー ス】

基礎数理

氏 名	職名	研 究 内 容
①鈴木 信 行	教 授	数理論理学。非古典論理の意味論的研究。特にKripke意味論とその拡張による中間述語論理や様相述語論理の研究。
毛利 出	教 授	非可換代数幾何学。特に非可換代数曲面の分類，非可換スキーム上での交叉理論，量子射影空間・量子線織曲面の研究。
保 坂 哲 也	准教授	幾何学的群論の研究。特に，群作用のあるCAT(0)空間とその境界の研究，およびCoxeter群とCAT(0)空間の研究。
依 岡 輝 幸	准教授	数理論理学。P(ω)/fin 上の組合せ論，測度論およびベールのカテゴリーなどの実数上のイデアルの組合せ論，強制法理論。
木 村 杏 子	准教授	スタンレー・ライスナーイデアルの研究。特に，算術階数や極小自由分解に関する研究。
四ツ谷 直 仁	准教授	ケーラー多様体上の標準計量問題と幾何学的不変式論安定性条件に関する研究

数理解析

氏 名	職名	研 究 内 容
②田 中 直 樹	教 授	作用素半群の理論と発展方程式。無限次元空間における指数関数の構成方法および偏微分方程式の実解析的立場からの研究。
②松 本 敏 隆	教 授	非線形発展方程式論，半線形偏微分方程式の適切性の研究。
足 立 真 訓	准教授	複素解析幾何学。特に，複素多様体内の弱擬凸領域における複素関数論。
岡 村 和 樹	准教授	確率論。特に，複雑な媒質上での確率過程の研究。また，分布の諸性質に関する研究。

【物 理 学 コ ー ス】

素粒子・宇宙，原子核物理学

氏 名	職名	研 究 内 容
土 屋 麻 人	教 授	超弦理論および場の量子論。特に行列模型による超弦理論の非摂動的定式化，ゲージ重力対応，非可換幾何学，量子重力理論。
森 田 健	准教授	素粒子論。特に超弦理論，ゲージ理論，及びブラックホールの研究。
内 山 秀 樹	准教授	人工衛星を使った観測的宇宙物理学（X線天文学），衛星搭載X線検出器の開発とそれを応用した物理教材の研究。
斉 藤 俊 貴	准教授	電波干渉計や赤外線宇宙望遠鏡を用いた銀河進化、銀河とブラックホールの共進化の研究。データ駆動科学の天文学への応用。

基礎物理学

氏 名	職名	研 究 内 容
②鈴 木 淳 史	教 授	統計力学，物性基礎論。特に，統計力学及び場の理論における可積分模型の数理的研究。
松 本 正 茂	教 授	物性理論。特に磁性を中心とした研究。
古 賀 幹 人	教 授	物性理論。特に強相関電子系を中心とし，電子のスピンや軌道自由度が絡み合う固体物性の研究。
弓 削 達 郎	准教授	非平衡物理学。非平衡性と多体効果の競合・協奏による現象の研究。量子マスター方程式や分子動力学法を計算手法として用いる。
POHLE Rico	講 師	物性物理学における理論研究、創発的な多体現象、トポロジカル相、特殊な相転移、および非平衡ダイナミクスに焦点を当てた研究。

物性物理学

氏 名	職名	研 究 内 容
海老原 孝 雄	教 授	希土類及び3d遷移金属間化合物の結晶育成と物性についての研究。新奇な物性を示しそうな物質の探索を行い，磁性と伝導・超伝導を含めた固体内の電子状態を研究する。
岡 俊 彦	教 授	脂質や界面活性剤などの作る液晶相やタンパク質などの構造形成や物性などについての研究。X線回折法などに関連する新しい測定技術の開発。
阪 東 一 毅	教 授	半導体に関する光物性及び量子光学的研究。無機及び有機半導体結晶とそれらのナノ構造における電子励起状態を光で探る，またはその電子励起状態から生じる光そのものの性質を明らかにする研究。
清 水 康 弘	教 授	磁気共鳴を用いた巨視的量子凝縮系の微視的物性研究。
嶋 田 大 介	准教授	超伝導転移温度の高い超伝導体のトンネル素子を作り，その微分伝導度を測定することにより求められた電子の状態密度から，高い転移温度の超伝導体の超伝導機構を解明する研究。
野 村 肇 宏	講 師	対称性や幾何学的フラストレーションに着目し，結晶中の新たな秩序状態を探索する研究。水和物やカイラル結晶を中心とした物質開発を行い，これまで着目されてこなかった化合物の磁性・誘電物性を探索する。
廣 部 大 地	講 師	スピントロニクスのかえ方を取り入れて、ナノ量子物性を探索する。電荷・角運動量・熱輸送測定を中心に行い、電子輸送現象を無機・有機物質を問わず広く対象とする研究。

【化 学 コ ー ス】

物理化学

氏 名	職名	研 究 内 容
岡 林 利 明	教 授	高分解能分光法を用いた短寿命分子種の物理化学的性質の研究。
②関 根 理 香	教 授	クラスターの構造・物性・反応の数理化学的研究。
河 合 信之輔	准教授	大規模な分子を効率よく記述できる座標系の研究。
松 本 剛 昭	准教授	高感度レーザー分光法による極低温分子クラスターの構造解明。

無機化学

氏 名	職名	研 究 内 容
近 藤 満	教 授	金属錯体を用いた機能性物質の合成と反応性に関する研究。
加 藤 知 香	教 授	金属酸化物クラスター・金属錯体・無機系細孔物質の合成，構造解析及び触媒作用に関する研究。
守 谷 誠	准教授	超分子の規則的な配列を利用した分子イオニクスに関する研究。
仁 科 直 子	講 師	金属ナノクラスター・金属ナノ粒子の合成，物性，触媒活性に関する研究。

有機化学

氏 名	職名	研 究 内 容
②小 林 健 二	教 授	水素結合やヘテロ原子間相互作用に基づく分子集合体・超分子の構造と機能探索。
塚 田 直 史	准教授	遷移金属錯体を触媒として用いた有機合成反応に関する研究。
関 朋 宏	准教授	相転移・発光・刺激応答性を示す機能性の分子結晶の研究。

生物化学

氏 名	職名	研 究 内 容
②山 本 歩	教 授	染色体ダイナミクスおよび構造の制御機構および栄養環境応答機構の研究。
大 吉 崇 文	准教授	生体内における核酸と核酸結合タンパク質の構造依存的な機能の解明。

放射化学

氏 名	職名	研 究 内 容
*大 矢 恭 久	准教授	トリチウム等ベータ放射体と材料との化学的相互作用の速度論的メカニズム解明研究と核エネルギーシステムへの応用。
*近 田 拓 未	准教授	先進エネルギーシステムにおける水素同位体の材料中の挙動解明と機能性材料開発。

【生物科学コース】

環境応答学

氏 名	職名	研 究 内 容
栗 井 光一郎	教 授	光合成膜糖脂質の生理機能解析。光合成生物を利用した有用物質生産。光合成生物の環境応答機構の解明。
木 寄 暁 子	教 授	植物の環境（光、温度、ストレスなど）への応答及び耐性メカニズムに関する分子生物学的研究。
天 野 豊 己	准教授	植物におけるタンパク質分解システムの研究。特に部位特異的突然変異法による反応素過程の解析，タンパク質分子のしなやかなモーションおよび緩やかかつ厳しい基質認識能の解析。
徳 岡 徹	准教授	被子植物の系統の解明。生殖器官に関する比較解剖学に関する形態形質の進化の解明。
村 上 博 紀	助 教	微細藻類の脂質代謝機構の解明。遺伝子組換え・ゲノム編集生物を利用した有用物質生産の社会実装に関する研究。
須 崎 大 地	助 教	植物の生殖機構の研究。被子植物の生殖組織の発生学と雌雄間相互作用の解析。

生体調節学

氏 名	職名	研 究 内 容
①藤 原 健 智	教 授	微生物による異化的窒素代謝，特に硝化・脱窒作用に関する生化学・分子生物学・生態学的研究。高度好塩性古細菌を用いた極限的環境への適応の分子メカニズムの研究。
鈴 木 雅 一	教 授	動物の環境適応機構・内分泌系に関する分子生理学的研究。器官形成・ホルモン遺伝子発現機構の研究。
日下部 誠	教 授	魚類の浸透圧調節能力の進化と多様性 - 魚類の塩分環境（海・河川）適応能力の獲得に関する研究。
石 原 顕 紀	准教授	分子生物学・バイオインフォマティクスのアプローチによる環境ホルモンの甲状腺系へ及ぼす作用機序解析。
岡 田 令 子	准教授	環境変化と生体内恒常性維持機構の生理・生化学的解析およびその進化。
伊 藤 舜	助 教	島嶼における表現型進化に関する研究。小型動物，特に陸産貝類を対象に進化生態学的手法を用いる。

細胞・発生プログラム学

氏 名	職名	研 究 内 容
①丑 丸 敬 史	教 授	細胞増殖制御機構の細胞生物学的解析。癌・老化関連因子TORの解析。染色体の分離分配制御機構の解析。
徳 元 俊 伸	教 授	魚類・両生類の卵母細胞をモデル系とした卵成熟・受精の分子メカニズムの解析。ステロイド膜受容体を介したノンゲノミック反応に関する研究。
道 羅 英 夫	教 授	ゾウリムシと核内共生細菌ホロスポラの共生系およびミドリゾウリムシと共生クロレラの共生系の成立機構に関する分子細胞生物学的研究。
雪 田 聡	准教授	両生類における骨形成の分子メカニズムに関する研究。脊椎動物の骨組織の多様性に関する研究。免疫関連タンパク質が哺乳類の骨代謝に与える影響の解析。
小 池 亨	准教授	肝臓形成に関わるシグナル伝達，組織間相互作用の分子メカニズムを，細胞培養や組織化学，遺伝子工学的手法を用いて解析する。
後 藤 寛 貴	助 教	昆虫における形態形成機構に関する研究。主にクワガタムシ，カブトムシなどの甲虫類を対象に，その特徴的な形態を形作るメカニズムを，分子生物学的手法を中心に解析する。

【地球科学コース】

地球ダイナミクス

氏 名	職名	研 究 内 容
川 本 竜 彦	教 授	水とマグマの関係、流体包有物の観察・化学分析、海水とマンツルの反応、地球史における海水の化学組成史
石 橋 秀 巳	准教授	岩石学・火山学。特に、火山噴出物の分析および実験に基づく、マグマの物性・形成過程・噴火ダイナミクスの解明。
生 田 領 野	准教授	人工震源装置による地殻内部物性の能動監視。海底地殻変動計測システムの開発。
田 阪 美 樹	准教授	岩石鉱物物理に基づく天然岩石の分析、室内実験によるマンツルかんらん岩のレオロジーの理解。
平 内 健 一	准教授	変形実験装置を用いた沈み込み帯プレート境界物質のレオロジー的性質の解明。
三 井 雄 太	准教授	広帯域の地表変形データ・物理モデリングなどに基づく、地球変動の研究。

生物環境科学

氏 名	職名	研 究 内 容
②北 村 晃 寿	教 授	化石・地質記録に基づく古地震・古津波に関する研究。
佐 藤 慎 一	教 授	二枚貝類の生態・古生態学。特に人為的影響による現生生物の変化に着目して、生態学的調査や観察などを通して化石生物の古生態を考察。
木 村 浩 之	教 授	海洋・温泉・地下圏の微生物生態学。物質循環、温暖化、エネルギー資源に関与する環境微生物の生理、生態、進化の解明。
宗 林 留 美	准教授	海洋における生元素動態の解明。海洋の炭素・窒素などの循環を物質の化学的性質とそれを廻る生物活動、海洋構造等から考察。
鈴 木 雄太郎	准教授	絶滅生物の古生態学、特に三葉虫の研究。現在生物における各器官の特徴、および外骨格とそれらの構造上の関係を、化石生物に応用して古生態を考察。
Dur Gaël	准教授	プランクトンの生態学。動物プランクトンの環境変化への適応的・進化的戦略。
久 保 篤 史	講 師	沿岸海域・陸水域における物質循環研究。特に、沿岸海域における二酸化炭素収支の解明。
Legrand Julien	助 教	花粉など微化石群集から古環境・古気候、堆積環境を考察。植生変遷、特に被子植物の初期進化過程の解明。

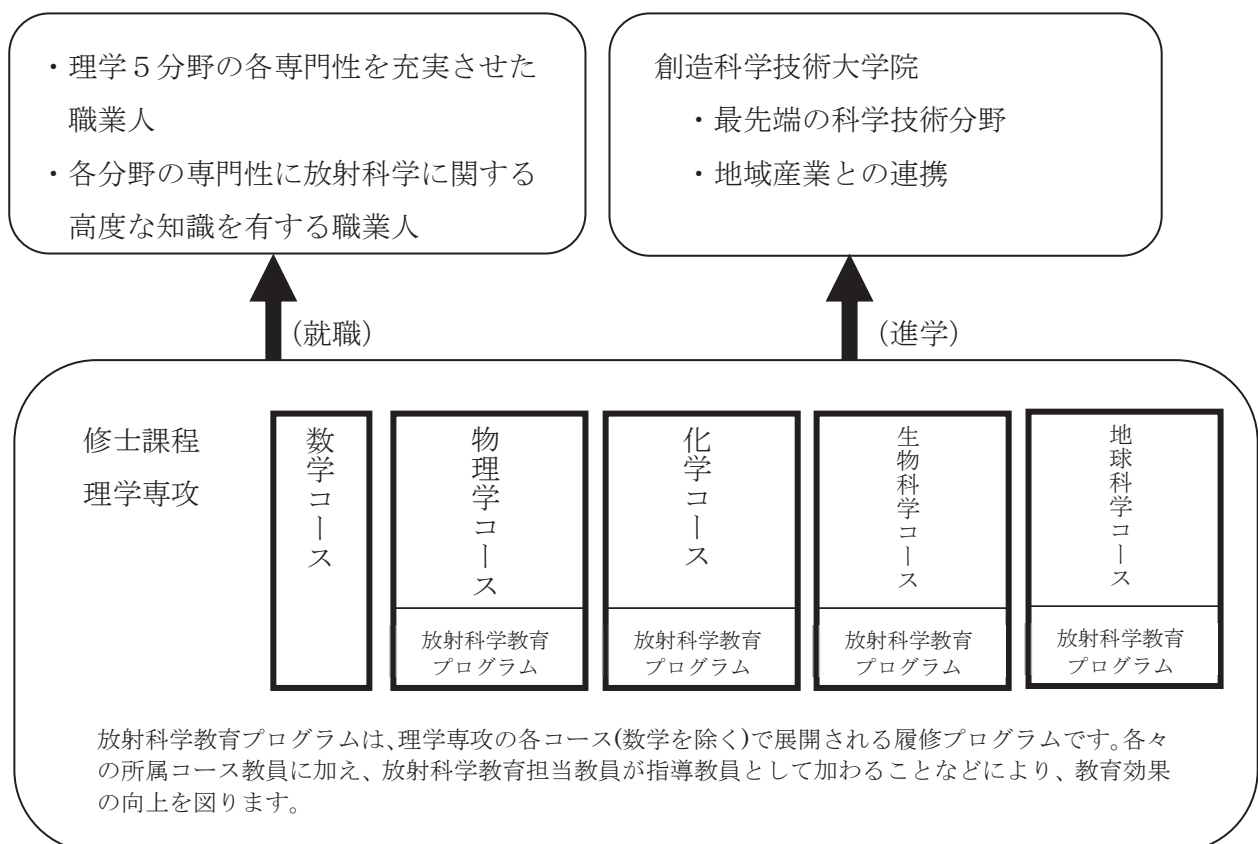
放射科学教育プログラムについて

放射科学教育プログラムとは、物理学、化学、生物科学および地球科学の各コースにおいて展開される履修プログラムのことで、それぞれの専門性に加えて、「放射科学」の幅広い知識をあわせもつ高度専門職業人を養成することを目的とするものです。すなわち、理学系研究分野のみではなく、他の分野においても必要となる新たな放射性核種や放射線利用法の開発や、現代社会が抱える核エネルギー問題等に正当に取り組む基礎研究を行う能力を養う等、社会の要請に答え、各分野で指導的立場になりうる人材を養成する教育プログラムです。

本プログラムの履修を希望する学生は、入学後に、研究テーマの内容に応じて、指導教員及び副指導教員と相談の上、履修を届け出ることとなります。

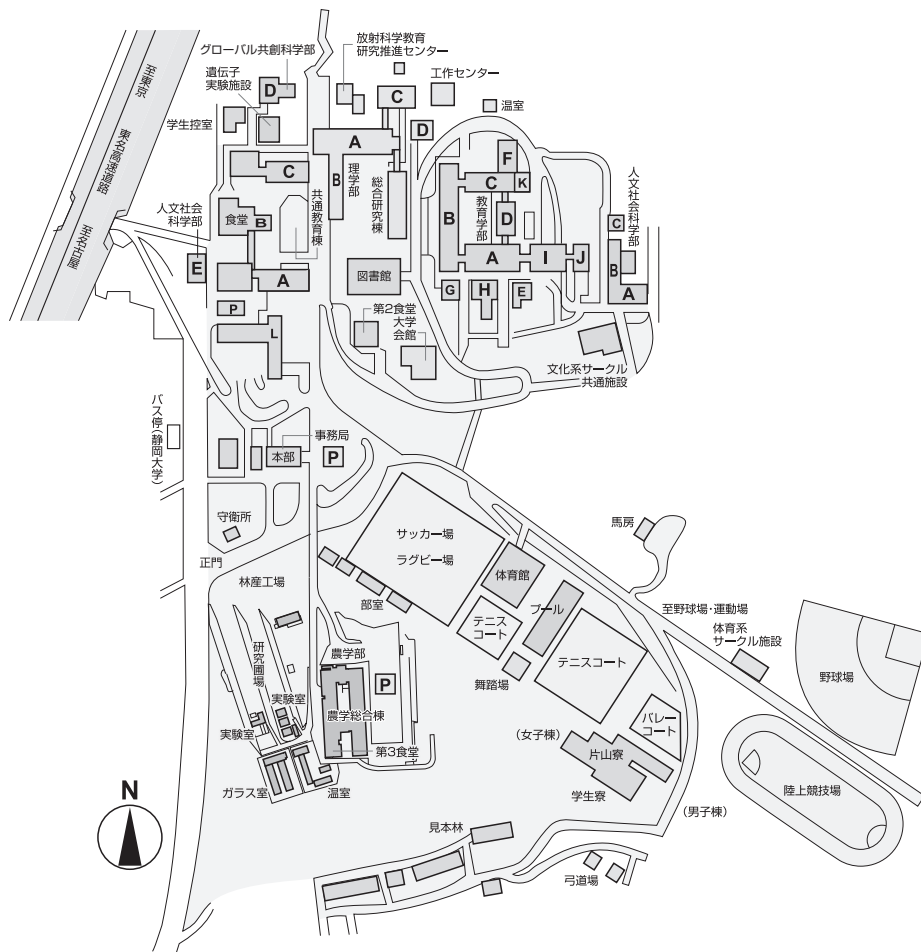
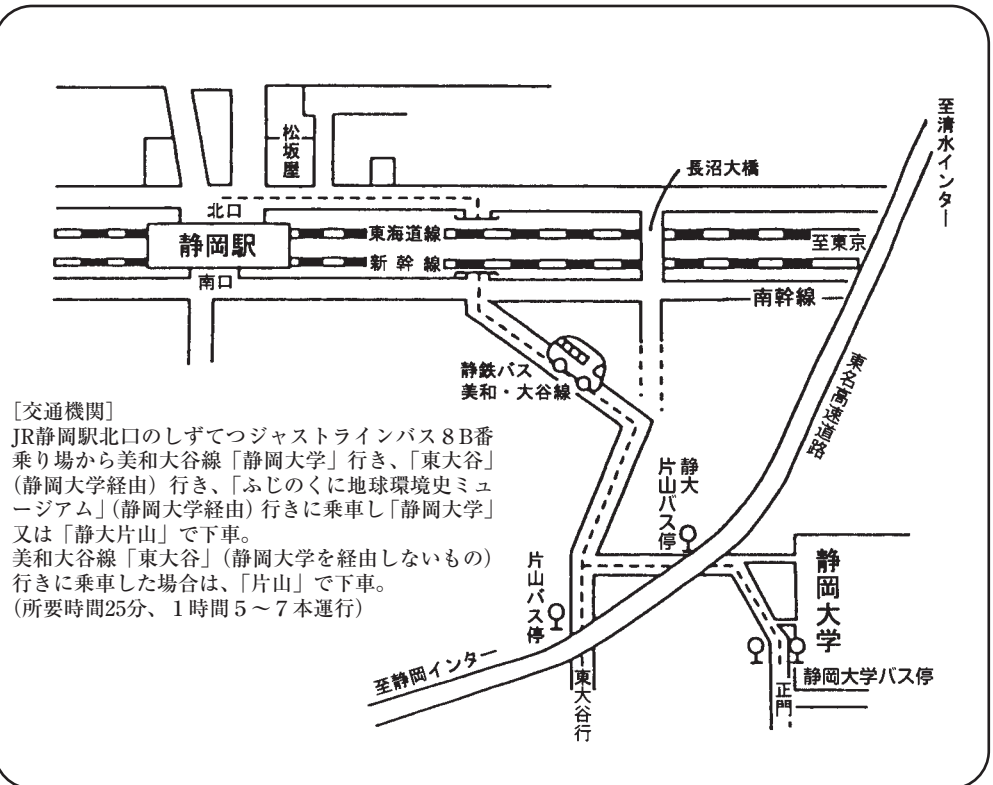
物理学、生物科学または地球科学コースに所属して本プログラムの履修を希望する学生は、入学願書の教員名の欄には当該所属コースの研究指導担当教員を記入してください。入学後、改めて所属コースの教員と放射科学教育担当の教員のいずれか1名を主指導教員、もう1名を副指導教員として決定します。

＜注＞当教育プログラムの担当教員は、「理学専攻コース概要(教育研究項目)」29～30頁及び「理学専攻コース紹介(主要研究内容)」31～35頁の氏名に*で示しました。



静岡大学静岡キャンパス案内図・建物配置図

東京—静岡 } いずれも
名古屋—静岡 } 新幹線で
約1時間



入学検定料の払込みについて

(1) 入学検定料 ・ ・ ・ ・ ・ 30,000円

(2) 同封の『払込取扱票』により、郵便局・ゆうちょ銀行（ゆうちょ銀行以外の銀行からは払込みはできません。）の受付窓口で払い込んでください。ATM（現金自動払込機）は利用しないでください。

【注】① 払込取扱票の「ご依頼人」欄（3カ所）に住所、氏名等を、黒又は青色のボールペンで正確に必ず記入してください。

② 「振替払込請求書兼受領書」及び「振替払込受付証明書」（入学検定料受付証明書）を郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口から受け取る際は、必ず、**日附印**の押印確認をしてください。（日附印の無い場合には、出願書類を受理しません）

③ 郵便局・ゆうちょ銀行の窓口で、所定の払込手数料をご負担ください。

(3) この用紙の所定欄に氏名、志望コースを記入のうえ、『**振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）**』を貼り付けて、他の書類と一緒に提出してください。

【注】「振替払込請求書兼受領書」は、受験票を受け取るまで大切に保存してください。

切 り 取 り 線

受験番号	※記入しないこと
------	----------

フリガナ	
氏 名	

志望専攻	総合科学技術研究科 理学専攻
志望コース	コース

振替払込受付証明書
(入学検定料受付証明書)

入学検定料
30,000 円

証明書の金額、
日附印の押印を
確認のうえ、貼
ること。

静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻（修士課程）入学願書

静岡大学長 殿				出願 年月日	令和 年 月 日
貴大学院総合科学技術研究科理学専攻(修士課程)に入学したいので、所定の書類を添えて出願致します。				受験 番号	
試験区分	☐ 一般 ☐ 自己推薦 ☐ 一般(10月入学) ☐ 自己推薦(10月入学)				写真貼付欄 出願3ヶ月以内に単身撮影した上半身、無帽、正面向きのもの (縦45mm×横35mm)
ふりがな			性 別	※ 男 ・ 女	
志願者氏名			本 籍	※ 都 道 府 県	
生年月日	※昭和・平成 年 月 日生		(外国人は国籍)		
出願資格	大学名 学部名 学科名				
(卒業年月)	※ 昭和 ・ 平成 ・ 令和 年 月 ※ 卒業 ・ 卒業見込				
志願者現住所	ふりがな			電話	
	〒			携帯電話	
入試に関する連絡先	ふりがな			電話	
	〒			携帯電話	
	e-mail				
保証人氏名	ふりがな			本人との続柄	
保証人現住所	ふりがな			電話	
	〒			携帯電話	
志 望 コ ー ス	志望教育研究分野			教 員 名	教育研究項目記号
	第1志望				
	第2志望				
	第3志望				

【記入上の注意】 (2026年度)

- 「受験番号欄」は記入しないこと。
- 試験区分欄は該当する項目にチェックすること。
- ※印欄は該当するものを○で囲むこと。
- 第2志望・第3志望が無い場合は、各欄に斜線を記入のこと。
- 志望教育研究分野が上の行と同じ場合は「同上」と記入すること。
- 下記の受験票と裏面の履歴事項も記入すること。

静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻（修士課程）

志願者氏名				受験票	受験番号	
志 望 コ ー ス	志望教育研究分野			教 員 名	教育研究項目記号	
	第1志望					
	第2志望					
	第3志望					

(注)裏面の「受験者の心得」をよく読んでおくこと。 (2026年度)

履 歴 事 項

学 歴（高等学校卒業以降を記入）	
年 月 日	高等学校卒業
年 月 日	入学
年 月 日	卒業・卒業見込
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
職 歴	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
賞 罰	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

【記入上の注意】

1. 履歴事項は、記入漏れのないようにすること。
2. 職歴、賞罰欄に記載事項が無い場合は「なし」と記入すること。

.....

受 験 者 の 心 得

1. 筆記試験開始後30分以上の遅刻をした者は、原則として受験を認めない。
2. 筆記試験開始後1時間は、退出を認めない。
3. 筆記試験中、本票は試験監督者に見えるよう机の上に置くこと。
4. 試験中、不都合な行為があった者に対しては、受験を中止し、かつ、試験を無効とする。
5. 電話等による可否の問い合わせは、一切受け付けない。

※ 1～3は、筆記試験を実施する試験区分・コースにおける心得

事前審査申請書

令和 年 月 日

静岡大学大学院総合科学技術研究科長 殿

ふりがな
氏 名

生年月日 昭和・平成 年 月 日生 男・女

審査区分について、該当する項目にチェックすること。

審 査 区 分	☐ 一般入試出願資格（９） ☐ 一般入試出願資格（１０） ☐ 外国人留学生入試出願資格（２）
---------	--

志 望 コ ー ス		志望教育研究分野		志望教育研究項目記号	
		第1志望			
		第2志望			
		第3志望			
(ふりがな)	〒			電 話	
現 住 所				— —	
学(職)歴	年 月	立	高校卒業	年 月	
	年 月			年 月	
	年 月			年 月	

理学専攻(	コース)を志望する理由
大学院進学後の研究に対する抱負	

推薦書

令和 年 月 日

静岡大学大学院総合科学技術研究科長 殿

(大学・学部名等)

(学部長名等) 印

志願者氏名	
所見	指導教員氏名 印
	記載教員氏名 印

静岡大学大学院

総合科学技術研究科理学専攻

静岡キャンパス：〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学理学部学務係
TEL 054-238-4861 FAX 054-237-9895